

平成25年行政事業レビューシート				(復興庁)			
事業名	厚生労働科学研究費補助金(東日本大震災分)		担当部局庁	復興庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏	
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働科学研究費補助金取扱規程 (平成10年4月9日厚生省告示第130号)		関係する計画、通知等	・「第4期科学技術基本計画」(平成23年8月19日閣議決定) ・「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成20年10月31日内閣総理大臣決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働科学研究の振興を促し、もって、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的として、先般の東日本大震災からの復興への対応に関する研究に係る経費である。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究、先般の東日本大震災からの復興に関する研究を実施するため、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。なお、研究課題の採択は、原則として公募で行い、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。(補助率10/10)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算			2,460	1,067	1,047
		繰越し等			△ 100		
		計			2,318	1,109	1,047
	執行額			2,318			
	執行率(%)			100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	研究の目的や成果は研究課題毎に異なるため、これらの成果を数値で示すことは困難		成果実績	-	-	-	-
			達成度	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	採択件数		活動実績	-	-	48	-
			(当初見込み)	-	-	(8)	-
単位当たりコスト	48,292,000 (円/1件)		算出根拠	執行額/活動実績			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	厚生労働科学研究費補助金	1,067	1,047	採択課題の終了に伴う減。			
	計	1,067	1,047				

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	厚生労働科学研究の振興を促し、もって、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的として、先般の東日本大震災からの復興への対応に関する研究に係る事業であるため、国費を投入しなければ事業目的を達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	「第4期科学技術基本計画」(平成23年8月19日閣議決定)、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」、「厚生労働省の科学研究開発評価に関する指針」に基づく事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	研究事業毎に成果目標は異なるが、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究課題を達成するために必要な経費の補助を行っているため、明確な成果目標の達成手段と位置づけられる。また、先般の東日本大震災からの復興への対応に関する研究に係る事業であり、厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究を実施するため、優先度が高い事業となっている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	研究事業ごとに評価委員会を設置し、各研究課題の評価を行うことにより採択課題を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は、当初見込みを上回っており、見込みに見合ったものである。	
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	研究成果については、厚生労働科学研究データベース等で公表している。	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	-	
点検結果	今後も引き続き、各研究事業の適切かつ効果的な実施及び研究費予算の効率的な執行を図る必要がある。				
外部有識者の所見					
研究課題の採択に当たっては、被災地の復興との関連が明確なものに限って採択されるよう、厳格な選定を行うこと。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	被災地における健康調査や食品中の放射性物質の検査手法の研究など復興に資する必要性の高い研究であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的な執行に努めていく。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年		平成23年		平成24年	24新-22

復興庁  
2,318百万円(24年度予算)

(厚生労働省へ移替え)

厚生労働省  
2,318百万円(24年度執行)

A 個人(課題) 2,318百万円  
(48)

(厚生労働科学研究の実施に必要な研究費)

資金の流れ  
(資金の受け取り  
先が何を行っている  
かについて補足  
する)(単位:百万  
円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックごと  
 に最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

A.個人			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	事務用品等	14			
備品費	研究機器等	16			
委託費	モニタリング、監査等の業務委託	19			
人件費	研究協力者への各種手当等	66			
旅費	国内旅費及び外国旅費	13			
その他	印刷製本費、通信運搬費等	22			
計		150	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	研究者A	被災地における心不全患者の在宅療法に関する研究	150	1	100%
2	研究者B	東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	138	1	100%
3	研究者C	造血細胞移植における肝中心静脈閉塞症(VOD)に対する本邦未承認薬 defibrotideの国内導入のための研究: 第I 相および第II 相試験(医師主導治験)	129	13	69%
4	研究者D	RET融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に対する新規治療法の確立に関する研究	104	13	69%
5	研究者E	新しく開発された超高感度内視鏡(従来の強力光源が不要)の脳神経外科領域への臨床応用とその実用化に向けた医師主導治験の実施	104	13	69%
6	研究者F	岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コーホート研究	100	1	100%
7	研究者G	被災後の子どものこころの支援に関する研究	100	1	100%
8	研究者H	被災地に展開可能ながん在宅緩和医療システムの構築に関する研究	100	1	100%
9	研究者I	被災地の再生を考慮した在宅医療の構築に関する研究	100	1	100%
10	研究者J	宮城県における東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査	100	1	100%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					